

1

〔問題 1〕 各 4 点

(あ) インドネシア	(い) 減っている
------------	-----------

模範解答に準ずる表現であれば
正答とする。

〔問題 2〕 4 点

ウ

・魚介類消費量（供給量）の減少を指摘している 3 点
 ・肉類消費量（供給量）の増加を指摘している 3 点
 ※会話文の「～がわかるね」に繋がる形式で解答していなければ「-1」の減点。

〔問題 3〕 6 点

(う) 魚介類の消費量が減ってきているのに対して、肉類の消費量が増えていること

〔問題 4〕 4 点

59.5% %

・原因に相当する点を指摘している。2 点
 ・結果に相当する点を指摘している。2 点

〔問題 5〕 (1) (2) 各 4 点

(1) 国土に占める平野部が少なく、牧畜に適した土地が不足しているため。 <small>※日本の国土の特徴として山地が多く平地が少ない点を指摘していること。原因に「海」を挙げている場合は説明不足として加点しない。</small>
(2) 国土の四方を海に囲まれ（海岸線が発達しているため）、漁業が行いやすくなるため。 <small>※日本の国土の特徴として四方を海に囲まれている点を指摘していること。</small>

・関税率低下について触れている 3 点
 ・小売価格の低下について指摘している 3 点
 ・上記二点を食生活の変化の要因と捉えて説明している 2 点

〔問題 6〕 (1) 各 2 点 (2) 8 点

(1)	☒ 5	☒ 6
-----	-----	-----

(2) 関税率が下がっていったことにより小売価格が下がり、食卓に登場しやすくなった。 <small>※文章で解答していなければ加点しない。</small> <small>※ (1) の解答に☒7 を選択している場合、(2) の内容に応じて「1 点」加点。(2) の内容が十分であれば「4」点加点する。</small>
--

〔問題 7〕 8 点

問は「私たちの食生活のなかで文化の同一化が進むことによる利点と欠点をそれぞれ挙げよ」と指示。 韓国料理専門店など日本にいながら多くの国の食文化に慣れ親しむことができる一方で、 行事食や郷土料理など、日本固有の食にまつわる文化への理解が低下してしまう。

・利点と欠点について、それぞれ具体例を挙げながら説明していること。
 ・利点で 4 点、欠点で 4 点
 ・具体例がなければ 2 点減点とする。

1 合計

*

2

〔問題1〕 3点

(あ) 小腸

〔問題2〕 選択：2点 理由：6点

番号 ②

理由
(空腹時には、) かん臓にたくわえたグリコーゲンをブドウ糖に分解して血液に戻すため、かん臓から心臓に戻る血液が通る血管②に1番多くブドウ糖が含まれる。

・「グリコーゲンをブドウ糖に分解する。」もしくは「かん臓から血液中(血管)にブドウ糖を送る。」のどちらかが述べられて3点。
・上記に加え「かん臓から心臓にもどる血液が血管②を通る」という内容が述べられて3点。
※「かん臓から心臓にもどる血液が血管②を通る」という内容だけの場合は《ブドウ糖が多い理由》にならないため不正解。

〔問題3〕 6点

かん臓でブドウ糖をグリコーゲンに変える(血糖値を下げる)ためのインスリンが、すい臓で作られていないから。

〔問題4〕 各2点

(い) タンパク質 (う) ブドウ糖

・「インスリンがすい臓で作られていないから。」という内容で6点。
・「インスリンが少ないから。」という解答は3点。

〔問題5〕 各3点

ひらがな可

成分	ナトリウム	尿素(にょうそ)	インスリン
濃度(倍)	1.2	66.7	120

〔問題6〕 各4点

ひらがな可

順不問

(え) 赤紫(あかむらさき) (お) 黄

欄外に「色」とあるため、「赤紫色」「黄色」は1点減点

〔問題7〕 3点

7.5

欄外に「mm」と記載されているため、「7.5 mm」は1点減点。

〔2〕合計

*

記述問題の漢字間違いや既習漢字のひらがな表記は、同じ小問内に複数あっても1点の減点とする。